

## 中学校第2学年 道徳科学習指導案

日 時 平成30年9月28日(金) 2校時

指導者 教育センター所員 立石 哲朗

1 主題名 役割と責任、そして成長【内容項目 C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実】

2 教材名 「合唱コンクール」(出典:「輝け 未来 [学校図書]」)

### 3 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

人間は、他の人間と関係をもち集団を作り上げ、様々な集団や社会の一員として生活している。人が、それぞれの集団の一員としてよりよく生きていくためには、自分の属する集団の意義や目指す目的を十分に理解し、自分の役割と責任を果たし集団生活の充実に努めることが大切である。そのためには、規則を守ることはもちろんのこと、互いに励まし合う関係作りをすることが重要である。また、集団の中で、自分の役割や責任を自覚し、全うすることは、自己の資質・能力を高め、自分自身の成長につながる。生活の大半を学校で過ごす生徒にとって、よりよい学校生活を実現するために、役割を自覚し、協力して物事に取り組もうとする心情を育むことは大変意義深いことである。

○生徒の実態について

本学級の生徒は、4月に行った道徳的価値の意識調査における「先生や学校にいる人のことを思い、よりよい学級や学校をつくるために、自分にできることをしている。」という質問に対し、36%が「よくできている」、54%が「だいたいできている」、10%が「あまりできていない」と答えている。できていない理由は「自分にできることをやっていない」と記述していた。できている理由は「注意しているから」などと漠然としているものが多く、例を挙げて説明している生徒は少数であった。しかし、その中には集団のために頑張っていることを具体的に書いている記述もあり、このような生徒の思いを全体に広げ、協力して取り組むことの大切さについて考えを深めさせたい。

○教材について

本教材は、合唱コンクールを通して「僕」が所属する学級が対立をしながらも、集団としてまとまり、向上していこうとする姿に共感できる内容である。

「僕」は合唱コンクールの練習当初、意欲をもてなかった。クラスの男子も同様にやる気がなく、女子と対立をしていく。そんな中、実行委員の「小野君」だけは大きな声で歌っていた。そんな「小野君」の姿を見て、「僕」は歌が好きだから一生懸命に歌っているものだと思っていたが、ある日、「小野君」は歌が好きで歌っているわけではないということを知り、不思議に思う。その翌日、担任の先生の提案で3年生の練習を見学することとなった。部活動の先輩から「合唱で大事なのはみんなでがんばること」という話を聞いたことで、「僕」は合唱コンクールの練習に前向きになり、クラスも変わっていく。

「小野君」の言動や先輩の言葉から「僕」が前向きで、協力的になっていき、クラスが変わっていく様子を通じて、よりよい学校生活、集団生活の充実の実現のために役割と責任が大切であるという理解を深めることができると考える。それらの理解をもとに、集団生活の充実が、自己の成長につながるという視点で教材を活用したい。

○指導について

導入では、集団の役割について大きくリーダーとフォロワーに分けられるということに触れる。リーダーとしての経験とフォロワーとしての経験のどちらが自分自身を成長させるのかということについて、はじめの意見をスケーリングさせ、全体で交流することで、全体的な傾向を確かめさせる。

その上で、展開では教材を読み、登場人物の思いを考えさせていく。特に、実行委員の「小野君」の言葉を通して役割と責任について考えさせていきたい。また、「千葉先輩」の話を通して前向きに協力していくことの大切さについて考えさせていきたい。そして、合唱コンクールを通して、「僕」と「小野君」のどちらがより成長したのかということについて再度リーダーとフォロワーに分けスケーリングさせ、役割に関係なくどちらも成長できるということに気付かせ、更にクラス全体の高まりについても気付かせていく。

終末では、集団生活の中で、自分やみんなが成長するために大切なことは何かということを考えさせることで、集団での経験が個人の成長につながることに気付かせていく。

4 ねらい

「僕」の合唱コンクールへの思いと行動の移り変わりを通して、集団の中での役割や責任を自覚し、集団や自己の成長のために、協力して物事に取り組もうとする心情を育てる。

5 展開

	学習活動	主な発問(○)と予想される反応(・)	指導上の留意点 <small>予想される生徒の変化(教師の願い)</small>
導 入 / 展 開	1 本時の方向性を つかむ。  【書く活動①】  【話し合い①】 全体	○リーダーとフォロワーの経験とでは、どちらが、より成長できると思いますか。 ・ <u>リーダーとして</u> みんなをまとめることができるから。 ・ <u>フォロワーとして</u> リーダーをフォローしながら、活動できるから。	・事前アンケートの結果を示し、「成長」の定義について共通理解を図る。 ・リーダーを経験することでの成長を10段階で5とした場合、フォロワーはどのくらい成長できるのかということ、ワークシートと簡易ホワイトボードにスケーリングさせ、理由を書かせることによって思考の可視化をする。  リーダーとフォロワーによる成長について、自分なりに考えようとしている。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     集団の中での役割と自己の成長について考えよう。                 </div>		
	2 「合唱コンクール」のあらすじを聞き、話し合う。 【話し合い②】 全体  【書く活動②】 【話し合い③】 自由交流  【話し合い④】 全体	○大きな声で歌う小野君を見ながら、僕はどんなことを考えていたでしょう。 ・練習を早く終わりたい。 ・小野君は歌うのが好きなんだろう。  ○千葉先輩の話聞いた時、僕はどんな気持ちになったでしょうか。 ・頑張っている小野君に協力できない自分(僕)はかっこ悪かった。千葉先輩のように胸を張って歌ってみよう。 ・一生懸命に歌う千葉先輩がかっこいい。  ○合唱コンクール後の、僕の成長と実行委員の小野君の成長を比べてみましょう。 ・どちらも大きな成長があったと思う。 ・練習を頑張らなかった僕が、頑張ったことによって、認められるようになったから、僕の方が大きいと思う。 ・小野君は練習のはじめから頑張っていて、クラスみんなをまとめようとして頑張ったから、小野君の方が成長は大きい。  ○小野君と僕は合唱コンクールを通じて、成長していきましたが、クラス全体は成長できたでしょうか。 ・クラス全体が成長できたと思う。	・状況をつかみやすいように、場面ごとに挿絵を示す。 ・僕、小野君、千葉先輩のそれぞれの心情を理解できるように整理しながら板書する。  千葉先輩の話聞いて、僕の気持ち前向きになってきていることに気付いている。  ・小野君の成長を生徒の意見をもとに先にスケーリングさせ、僕の成長の大きさを、簡易ホワイトボードに書かせて比較させる。 ・話し合いの際に、意見を「同じ」や「似ている」、「なるほど」に分けることで自分以外の意見に気付くことができるようにする。  ・僕や小野君だけが成長しているのではなく、クラス全体が成長し、高まっているということにも気付かせる。

/ 終 末	<p>3 集団生活についてとこれからの自分について考える。 【書く活動③】</p> <p>4 動画を視聴する。</p>	<p>○今日の学習で学んだこととこれからの自分について書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで活動する中で、意見がぶつかったり、自分の思うようにいかなかったりするけど、一生懸命に頑張っていれば、みんなのためにも、自分のためにもなるから、これからの学校生活も頑張っていきたい。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                 小野君と僕を比べながらも、みんなが頑張ったから、クラス全体の達成感が大きくなったということに気付いている。             </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活の充実が個人の成長につながるということを知った上で、これからの自分はどのようにしていきたいのかという視点でワークシートを記入させる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                 集団とのかかわりの中で人間は成長していくということについて気付いている。             </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した集団生活をイメージできるようにするために動画を視聴させ、余韻を残しながら終わる。</li> </ul>
-------------	---	---	--